

11. ローマ帝国史科 (2026年度)

【 水 曜 日 授 業 予 定 表 】 講 師： 南川高志先生、草生久嗣先生、阿部俊大先生、ほか

				午 前				午 後					
	回	月	日	曜日	講座数	テーマ	内 容	講 師 名	テーマ	内 容			
1 学 期	1		6	月	①	★	①入 学 式 （大阪国際会議場）						
	2	4	15	水	1	講義	ローマ帝国史講義序論	京都大学名誉教授 南川高志	学習・行事予定等の説明 クラスオリエンテーション、 班内自己紹介				
	3		22	水	2	講義	共和政ローマの発展とローマ帝国の成立	京都女子大学教授 桑山由文	コーダイオリエンテーション、クラス自己紹介				
	4		6	水	3	講義	共和政ローマの変容と皇帝政治の成立	京都女子大学教授 桑山由文	自主活動	班各担当・班長決定、遠足行先検討			
	5	5	13	水	4	講義	皇帝政治の時代	京都女子大学教授 桑山由文	〃	各担当別会議			
	6		20	水	5	★街歩き	ローマ帝国の美術 「京都ギリシャ・ローマ美術館」	奈良大学教授 足立広明	午後も街歩き				
	7		3	水	6/②	講義	最盛期ローマ帝国の社会 その1	京都大学名誉教授 南川高志	自主活動	各担当別会議			
	8	6	10	水	6	★	②遠 足						
	9		17	水	7/③	講義	最盛期ローマ帝国の社会 その2	京都大学名誉教授 南川高志	③社会への参加活動（準備活動）（活動事例研究）				
	11		1	水	8	講義	ローマ帝国の危機と再建	京都女子大学教授 桑山由文	自主活動	コーダイフェスタの発表テーマ内容検討			
	12	7	8	水	9	講義	後期ローマ帝国時代	奈良大学教授 足立広明	〃	コーダイフェスタ発表準備			
	13		15	水	10	講義	キリスト教の発展とローマ帝国	奈良大学教授 足立広明	〃	コーダイフェスタ発表準備			
			8				夏 休 み						
2 学 期	14		16	水	11	講義	古代末期の世界	奈良大学教授 足立広明	自主活動	健康まつり説明 参加対応検討			
	15	9	23	水	12	講義	ビザンチン帝国序論および帝国の繁栄	大阪公立大学教授 草生久嗣	〃	コーダイフェスタ発表準備			
	16		30	水	13	講義	ギリシャ化の進展	大阪公立大学 紺谷由紀	〃	コーダイフェスタ発表準備			
	17		8	木	④	★	④コーダイ健康まつり （日程・場所 未定）						
	18		14	水	14	講義	ローマ帝国の世界遺産を巡る（コンスタチノーブル）	旅行ライター 竹村和花	自主活動	コーダイフェスタ発表準備			
	19		21	水	15	講義	宗教・文化が花開く	大阪公立大学 非常勤講師 貝原哲生	〃	コーダイフェスタ発表準備			
	20		28	水	16	講義	帝国生き残りへの新たな挑戦	大阪公立大学 非常勤講師 佐伯綾那	〃	コーダイフェスタ発表準備			
	21		11	水	17	講義	帝国の終焉とビザンチン帝国が後世に残した	大阪公立大学教授 草生久嗣	〃	コーダイフェスタ発表準備			
	22	11	18	水	18	講義	神聖ローマ帝国（ローマの政治的遺産）	大阪公立大学准教授 佐々木博光	〃	コーダイフェスタ発表準備			
	23		25	水	⑤	★	⑤コーダイフェスタ （日程・場所 未定）						
	24		2	水	19	講義	ローマ帝国の建築	京都工織大名管教授 西田雅嗣	〃	成果発表会内容検討			
	25		9	水	20	★街歩き	ローマ帝国の建築を大阪で（中之島界限）	京都工織大名管教授 西田雅嗣	午後も街歩き				
	26	12	16	水	21	講義	古代教会から中世教会への展開（ローマの宗教的遺産）	東京大学名誉教授 池上俊一	〃	成果発表会準備			
	27		23	水	22	講義	十字軍と地中海貿易	同志社大学教授 阿部俊大	〃	成果発表会準備			
							冬 休 み						
	3 学 期	28		13	水	23	講義	ローマ帝国の世界遺産を巡る（ローマ）	旅行ライター 竹村和花	自主活動	成果発表会準備		
		29		20	水	24	講義	ローマ法の進展（ローマの法的遺産）	京都産業大学教授 梶原洋一	〃	成果発表会準備		
30		1	27	水	⑥	⑥社会への参加活動							
31			3	水	25	講義	ルネサンスは古代ローマ文化の復興か？（中世におけるローマの知的・文化的遺産）	同志社大学名誉教授 石坂尚武	〃	成果発表会準備			
32			10	水	26	講義	ローマ帝国と近現代の世界	京都大学名誉教授 南川高志	〃	成果発表会資料まとめ			
33		2	24	水	27	学習成果発表会							
34					⑦	⑦修了式							
35		3	3	水	⑧	⑧・⑨卒 業 旅 行（1泊2日）							
36			4	木	⑨								
	授 業（自主企画、成果発表）				27（講座数列1～27）								
	学習事業（①～⑨）				9（講座数列①～⑨）								
	合 計				36								

2025/0910

2025/0910

よ、都合により変更になる場合があります。